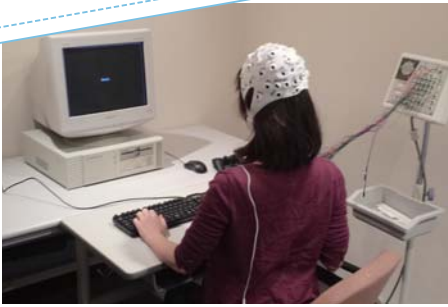
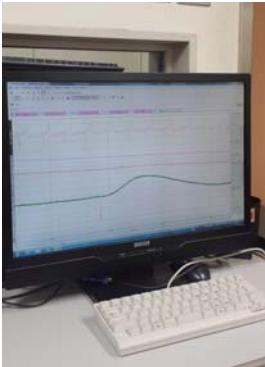


複雑な人間の心に迫りたい。



実験風景



抹消自律神経の反応が波型で記録されていく。



遠山さん



ゼミの仲間と

社会環境学専攻 心理学講座 大平研究室 遠山 朝子さん 博士後期課程2年

大学で心理学を学び、社会に出て3年。再び心理学の道に進んだ遠山さん。人間の根本とも言える「感情」の研究に携わりたいと大平研究室にやって来た。今は実験、データ解析、論文読みと、研究一筋の日々を送る。

研究テーマは「価値の相対性」。例えば、①10円もらえる場合があるときと50円もらえる場合があるとき。②50円もらえる場合があるときと250円もらえる場合があるとき。この二つの条件で同じ50円でもモチベーションに与える効果が異なるのだが、そこにどのような生理心理学的メカニズムが考えられるのか。それを精神性の発汗や脳活動計測等、様々な方法で調べている。「どういう要因で価値が決まり、行動が決まってくるのか、そこを見たい」と、遠山さん。実験の過程でわかるのは、人間の反応は複雑だということ。いろいろな科学的アプローチで取り組むのも、それだけ心が複雑で一つの指標だけではわからないからだという。しかしその一方で、指標が増えることで、それらを包括的に取り扱うための幅広い知識も必要となり、分野をまたぐ情報の収集が欠かせない。

「人間を理解することは、自分がどう生きたいかに関係してくると思う」と語る遠山さん。将来は研究者に。長い道のりをかけて、心の全体像に迫るのが夢だ。

 名古屋大学

〒464-8601

名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科

TEL.052-789-3455

www.env.nagoya-u.ac.jp/

